

<防災週間>



9月1日は防災の日です。これは大正12年（1923年）9月1日に発生した関東大震災に由来し、昭和34年（1959年）9月下旬に来襲した伊勢湾台風をきっかけとして、翌年、制定されました。昭和57年からは防災の日を含む1

週間（8月30日～9月5日）を「防災週間」と定め、台風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波等の災害への備えについて考える機会として、自治体等で防災訓練などが催されることも多いです。

自然災害は、時として、想像を超える力で襲ってきます。災害による被害をできるだけ少なくするためには、一人ひとりが自ら取り組む「自助」、地域や身近にいる人同士が助け合って取り組む「共助」、国や自治体などが取り組む「公助」が重要だと言われています。その中でも基本となるのは「自助」、一人ひとりが「自分の身は自分で守る」ことです。「自助」があつての「共助」で、まず、自分が無事であることが最も重要です。

「防災週間」には、家族や学校、職場で「もしものとき」のことを相談し、避難場所や連絡方法、備えておく物などについて、確認しておくことで安心です。

※問合せ先（月～金曜日） 稚内地方気象台（電話：0162-23-2679）

地域おこし協力隊通信

vol.10

地域おこし協力隊の青柳です。

暑い日が続いていますが、町民の皆様、体調を崩されていませんか？

7月30日・31日の両日、おもしろ科学館2016が開催され、隊員3名もスタッフとして参加しました。「臨時列車・秘境駅探検号・出発進行！」というタイトルで、小学生以下限定のゲーム&クイズを開催し、「1日駅長・ぽっぽや太一」として不器用な自分が進行役を務めました。丸田隊員が駅助役を、若月隊員が技術役（スクリーン・PC操作）を担当し、ぽっぽろ愛好会などの協力をいただきました。



内容は、列車に見立てた箱にロープを巻いていき、線路の上を滑らせてゴールを目指す列車ゲームと、レースの到着順で難易度が変わる幌延町や鉄道に関するクイズを出しました。

参加したチビっ子の皆さんは、お父さん、お母さんやお友達等から声援を受け、真剣にゲームとクイズを楽しんでいた様子でした。参加した子供達のクイズの正解率も9割以上となっており、記念品を手に喜んでいました。

ゲームに使用する車両や線路・駅名標等を手作りしたり、企画や進行等、慣れない作業ばかりでしたが、子供たちの笑顔に苦労も報われた気がします。

今後も皆様楽しんで頂ける様なイベントを企画させていただきます！！

▼町ホームページ：協力隊コーナー「Base Town」

▼協力隊Facebook(URL：<https://www.facebook.com/horo.okoshitai/>)